

H24 ③「指定管理者制度のあり方」における調査研究

調査項目 「指定管理者制度のあり方」における調査研究

調査年次 平成 24 年度

目的

指定管理者制度による都市公園管理がスタートし、実施から 8 年が経過した。各都市で指定管理者制度が定着しつつあり、指定管理者の選定も 2 巡目、3 巡目と実施されている。

しかし、自治体の管理予算は公募のたびに指定管理料の削減が求められ、競争により契約額を軽減させることで維持管理費の削減を行っているのが現実と考えられる。

今後、公園における適正な利用者サービスを維持するために、指定管理者制度の適正な発注、業務の実施が行われるよう、より効果的な指定管理者制度のあり方について検討を行う。

また、東日本大震災では、大規模災害時の課題も見えてきたことから、指定管理者制度による震災時における都市公園の管理を検証し、課題の整理と今後に向けた改善策等について検討を行う。

概要

指定管理者制度運用の実態把握、現状の指定管理者制度の効果と課題の整理、効果的な制度導入条件の検討、をおこない今後の指定管理者制度の在り方についての提議をおこなった。

結果

■ 指定管理者制度の運用実態の整理

既往の調査研究報告のまとめ、過年度の協会自主研究の指定管理者調査のまとめを行うとともに、検討会参加都市への指定管理者制度に関するアンケートの実施、大都市から、指定管理者の公募から選定までの関連資料を提供いただき運用実態を把握した。

■ 指定管理者制度の効果と課題

検討会参加都市へのアンケートの回答から指定管理者制度の効果をおよび課題を整理した。

■ 効果的な制度導入のための各都市の取り組み

大都市から提供いただいた募集要項、業務仕様書、維持管理水準書（表）、事業計画書、事業報告書、その他行政の指定管理運用指針・ガイドライン等の資料を基に効果的な制度導入のための各都市の取り組みについて紹介した。

■ 今後の指定管理者制度のあり方についての提議

本調査において整理した、既往研究・調査、アンケート調査、効果・課題の整理、各都市の取り組みを踏まえ、より良い都市公園における指定管理者制度運用に資するあり方を提議した。

調査結果の反映等

キーワード 指定管理、公益的事業、モニタリング、サービス水準、指定管理料

事例公園等